

- 問1 北アフリカのエジプト付近に見られる、年間の気温が20度から30度前後と高く、すべての月の降水量がほぼ0mmである地域について、その気候と植生の特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 降水量が極めて少ないため、植物がほとんど育たない砂漠気候 | 2. 夏に乾燥し冬に雨が多いため、オリブなどの硬葉樹が育つ地中海性気候 | 3. 短い雨季があるため、丈の短い草が広がるステップ気候 | 4. 一年中気温が高く雨が多いため、多種多様な樹木が密生する熱帯雨林気候 |
|---------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|
- 問2 川が山間部から盆地へ抜ける出口付近に形成される地形は、堆積した土砂の粒が大きく、水が地下に染み込みやすいという性質を持っています。この地形において、水田よりも果樹園としての利用が盛んである理由として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 平地が少なく傾斜が急であるため、機械を導入した大規模な米作りを行うことが物理的に不可能だから | 2. 土砂の粒が大きく水はけが良すぎるため、地表に水を溜めておく必要がある稲作には適さないから | 3. 河口付近の栄養豊富な細かい泥が堆積しており、果樹の成長に必要な肥料成分が極めて多いから | 4. 標高が非常に高く、気温が低いために稲が十分に育たず、寒さに強い果物の栽培が選ばれたから |
|---|---|--|--|
- 問3 中部地方の3つの都市について、1月の気温と降水量のデータを確認したところ、ある都市では1月の平均気温がマイナス0.5度と低く、1月の降水量も約30mmと非常に少なくなっていました。このような特徴を持つ「内陸の気候」がみられる都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 浜松市 | 2. 上田市 | 3. 上越市 | 4. 金沢市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問4 日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。 | 2. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。 | 3. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。 | 4. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。 |
|--|--|--|--|
- 問5 ヨーロッパを流れるライン川は、アルプス山脈を源流として複数の国の領域を通り、北海へと注いでいます。このように、関係する国々の条約に基づいて、自国だけでなくすべての国の船舶が自由に航行することを認められている河川を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|-------|-------|
| 1. 排他的経済水域 | 2. 国際河川 | 3. 公海 | 4. 領海 |
|------------|---------|-------|-------|
- 問6 1880年代の明治政府において、伊藤博文が憲法の制定に先立って「内閣制度」を創設した主な目的として、背景にある考え方を説明したものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 地方自治の権限を強化し、各府県の知事が中央政府の干渉を受けずに独自の憲法を運用できるようにするため。 | 2. 自由民権派の主張を全面的に取り入れ、内閣総理大臣を国民の直接選挙によって選出する仕組みを整えるため。 | 3. 行政組織を近代化し、天皇を補佐する各国务大臣の責任を明確にすることで、憲法に基づく政治（立憲政治）を円滑に運営するため。 | 4. 三権分立を徹底させ、内閣が司法権（裁判所）に対して絶対的な指示を出せるような強力な権力構造を作るため。 |
|---|---|---|--|
- 問7 日本の主要な貿易拠点の統計において、成田国際空港では「通信機」や「医薬品」が輸出入の上位を占めるのに対し、横浜港では「自動車」や「自動車部品」の輸出、「石油」や「液化ガス」の輸入が上位となる傾向があります。成田国際空港で扱われる品目に共通する特徴として、正しい説明を選んでください。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 体積が大きく、一度に数万トン単位で輸送しなければ採算が合わない低価格な原料であるという特徴がある。 | 2. 製品一つあたりの重量が比較的軽く、体積も小さいため、付加価値の高い品目であるという特徴がある。 | 3. 製品の重量が非常に重く、輸送に数週間から数ヶ月の時間をかけても品質が変化しないという特徴がある。 | 4. 気圧の変化に強く、極低温の状態で維持しなければならない液体状の資源であるという特徴がある。 |
|--|--|---|--|
- 問8 1925年、加藤高明内閣は普通選挙法を成立させる一方で、ある法律を同時に制定しました。この二つの法律が同時に進められた理由を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 天皇の権限を強化しつつ、議会政治の形式を整えることで国際的な批判をかわすため。 | 2. 選挙権の拡大による社会主義運動の活発化を警戒し、政府に批判的な運動を厳しく取り締まるため。 | 3. 地方自治の強化と、都市部への権限集中をバランスよく進める必要があったから。 | 4. 経済不況に対応するため、産業の合理化と労働者の保護を同時に行う必要があったから。 |
|--|--|--|---|
- 問9 九州の北西から日本海へ流れ込む対馬海流は、日本の気候、特に冬の日本海側の気象に大きな影響を与えています。この暖流が冬に大量の雪をもたらす仕組みを説明したものと、最も適切なものはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 暖流である対馬海流の上空で、大陸からの冷たく乾燥した季節風が水蒸気を蓄えて湿った空気となり、山脈にぶつかって雪を降らせる。 | 2. 対馬海流の影響で冬でも海面温度が下がらないため、低気圧が急速に発達しやすくなり、日本沿岸にだけ局地的な大雨をもたらす。 | 3. 暖流によって海水が冷やされることで上昇気流が抑えられ、乾いた風が吹き抜ける際に、山地で急激に冷却されて結晶化した雪が降る。 | 4. 寒流と暖流がぶつかることで濃い霧が発生し、その湿った空気が季節風によって内陸へと運ばれることで雪へと変化する。 |
|--|--|--|--|
- 問10 民事裁判において取り扱われる事例として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 新築した住宅に重大な欠陥が見つかったため、住人が建設会社に対して修理や損害賠償を求める。 | 2. 国民から選ばれた裁判員が、裁判官と共に殺人などの重大な事件の審理を行い、量刑を決定する。 | 3. 警察が法律に違反した疑いのある人物を逮捕し、取り調べを行って事件の真相を解明する。 | 4. 強盗事件を起こした疑いのある人物について、検察官が裁判所に起訴し、有罪か無罪かを判断する。 |
|---|---|--|--|
- 問11 民事裁判の仕組みと手続きに関する説明として、正しいものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 訴えを起こした側を原告、訴えられた側を被告と呼び、対等な立場で互いの主張を述べて争う。 | 2. 裁判所が職権で争いの証拠を集め、どちらが正しいかを一方的に通告する制度である。 | 3. 第一審では、一般の市民から選ばれた裁判員が参加し、被告が有罪かどうかを判断する。 | 4. 検察官が国家を代表して原告となり、社会の秩序を守るために被告人の有罪を証明する。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 降水量が極めて少ないため、植物がほとんど育たない砂漠気候	年間を通じて降水量がほぼ0mmという極端な乾燥状態は、乾燥帯の中でも砂漠気候の典型的な特徴です。植物の生育には一定以上の水分が必要ですが、この気候区では降水量が極めて少ないために植物がほとんど育たず、砂や岩石に覆われた景観となります。わずかに草が生えるステップ気候とは、雨季の有無によって区別されます。
問2	答え 2 土砂の粒が大きく水はけが良すぎるため、地表に水を溜めておく必要がある稲作には適さないから	扇状地は、川が運んできた砂や小石が堆積してできた地形です。堆積物の隙間が大きいため、雨水や河川水が地下へと深く染み込んでしまう「水はけが良い」状態になります。米作り（稲作）には田んぼに水を張る必要がありますが、扇状地では水がすぐに抜けてしまうため、水田には適しません。一方で、果樹は乾燥した土壌でも育ちやすいため、山梨県の甲府盆地などに代表されるように、扇状地はブドウや桃などの果樹園として最適の土地となります。
問3	答え 2 上田市	上田市は長野県に位置する内陸の都市です。周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入り込みにくく、年間を通じて降水量が少ない「内陸の気候」の特徴を示します。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、1月の平均気温が氷点下になることもあります。
問4	答え 2 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。	生乳の生産と流通には、製品の性質に応じた明確な特徴がある。牛乳（飲用）は液体であり、品質を維持するために鮮度が極めて重要視される。そのため、輸送時間を短縮できる大消費地の近郊で生産・処理される傾向が強い。一方、バターやチーズなどの原料となる加工用生乳は、広大な土地を持つ北海道が生産の約9割を占めている。加工品は飲用牛乳に比べて保存性が高く、遠方からの輸送にも適しているため、土地条件の有利な北海道での大規模生産が可能となっている。
問5	答え 2 国際河川	複数の国の領土を貫いて流れ、条約によってどの国の船舶でも自由に航行できる河川を国際河川と呼びます。ヨーロッパではライン川やドナウ川、東南アジアではメコン川などがその代表例です。これにより、海に面していない内陸国でも、河川を通じて海へアクセスし、貿易を行うことが可能になります。
問6	答え 3 行政組織を近代化し、天皇を補佐する各国務大臣の責任を明確にすることで、憲法に基づく政治（立憲政治）を円滑に運営するため。	伊藤博文は、憲法を制定するだけでは近代国家として不十分であり、それを運用する行政組織の整備が不可欠だと考えました。そこで1885年にそれまでの太政官制を廃止して内閣制度を創設しました。これにより、各省の長官である大臣が天皇に対して直接責任を負う体制を整え、強力なリーダーシップのもとで憲法の公布や国会の開設に備えました。
問7	答え 2 製品一つあたりの重量が比較的軽く、体積も小さいため、付加価値の高い品目であるという特徴がある。	航空輸送は海上輸送に比べて運賃が高いため、軽量で高価な「付加価値の高い」品目が優先されます。通信機、電子部品、医薬品などは、製品そのものが小さく軽いため航空機での輸送に適しており、また流行の変化が激しかったり緊急を要したりするため、迅速な輸送が求められます。一方、重量物や大量の資源は、コストを抑えて一度に大量に運べる海上輸送が主に選択されます。
問8	答え 2 選挙権の拡大による社会主義運動の活発化を警戒し、政府に批判的な運動を厳しく取り締まるため。	普通選挙法の制定によって国民の政治参加が拡大する一方で、当時の政府はロシア革命の影響を受けた社会主義や共産主義の広がりを強く恐れました。そのため、国体の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社を取り締まる「治安維持法」をセットで制定し、民衆の動きをコントロールしようとした。これは「アメとムチ」の政策とも評されます。
問9	答え 1 暖流である対馬海流の上空で、大陸からの冷たく乾燥した季節風が水蒸気を蓄えて湿った空気となり、山脈にぶつかって雪を降らせる。	対馬海流は黒潮（日本海流）から分かれて日本海を北上する「暖流」です。冬になると、ユーラシア大陸から冷たく乾燥した北西の季節風が吹きますが、この風が比較的暖かい対馬海流の上を通過する際、海面から蒸発した大量の水蒸気を吸収します。水分を含んで湿った空気となった季節風が、日本の脊梁山脈にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に世界的な豪雪をもたらす原因となります。
問10	答え 1 新築した住宅に重大な欠陥が見つかったため、住人が建設会社に対して修理や損害賠償を求める。	民事裁判は、お金を返してもらえない場合や住宅の不具合など、私人の間でのトラブルを解決することが目的です。検察官が起訴したり、裁判員が参加したりするのは刑事裁判に分類されるため、民事裁判には含まれません。
問11	答え 1 訴えを起こした側を原告、訴えられた側を被告と呼び、対等な立場で互いの主張を述べて争う。	民事裁判は私人の間の争いであるため、原告と被告は法的に対等な立場で争います。検察官が登場したり裁判員制度が適用されたりするのは刑事裁判であり、民事裁判では原則として当事者が主張や証拠を出し合うことが基本となります。